

特別委員会報告

特別委員会は、市の特定の問題について、審査・調査するために設置される委員会になります。主な調査内容をお知らせします。

議会活性化特別委員会

◇1月21日(第6回)

<報告事項>

1 袋井市議会傍聴規則等の改定について

現状のままとし、近隣市町議会の動向等を注視しながら、時宜を得た見直しを行っていく。

<協議事項>

1 通年議会について

議会閉会中においても、常任委員会等で十分な審議が行われており、現状のままでも十分対応できているため、現時点での導入については、消極的であるという見解に至った。

2 議員定数のあり方について

定数の推移や常任委員会における議論の実情、取り巻く環境の変化などといった現状を確認し、今後は、先進事例等の情報収集をしながら、課題を整理し、深掘りをしていく。

◇3月5日(第7回)

<報告事項>

1 議員間討議の運用について

これまでの検討案が、令和2年2月18日の議会運営委員会において、了承された。

<協議事項>

1 専決処分のあり方について

県内市議会における対応を参考にしつつ、当局に対しては、各所属に照会し、専決処分に係る現状を把握するよう要請した。

2 議員定数のあり方について

各種団体との意見交換会やアンケート調査を実施していくこととなり、実施時期や手法については、正副委員長に一任し、事務局とも協議した上で、次回以降、方向性を示していく。

ごみ減量化特別委員会

◇2月12日(第6回)

<報告事項>

1 第5回(11/21)委員会の整理事項について

ごみ処理量の将来推計について、袋井市・森町から排出される生し尿・浄化槽汚泥の量を計画からの推計値ではなく、実績値から推計したところ、347トン(約1.2%)の減となるとの報告があった。

<協議事項>

1 ごみ減量化対策について

(1) ごみ有料化導入スケジュール案について

ごみの種類別の減量化対策の導入スケジュール案や各対策における削減目標量についての協議を行い、ごみの有料化による市民の負担増の時期については、市民にとって最適な時期を検討することとした。

(2) 有料化によるごみ処理量の予測と導入案について

手数料の料金水準を減量効果が顕著に表れる料金に設定した上でのごみ減量効果の予測を踏まえ、有料化の方法について協議した。

(3) 事業系ごみの排出状況について

月1トン以上のごみを排出している事業所のごみ排出状況やリサイクルへの取り組みについての現状報告を受け、今後の多量排出事業者対策について協議した。

2 資源ごみ・不燃ごみの収集方式について

ステーション方式(固定型のごみ集積施設でごみを回収するシステム)実施についての協議を行い、ステーションの新設や増設に係る費用や管理運営体制等の検討課題の洗い出しを行った。

3 ごみ減量化とSDGsとの関連性について

持続可能な17の国際的な開発目標のうち、日本では「つくる責任 つかう責任」が最大の課題となっており、さらなるごみ減量化への取り組みが必要であることを確認した。

◇2月18日(第7回)

<報告事項>

1 国のGIGAスクール構想への対応について

子供たちの未来を見据え、児童生徒向けに1人1台タブレット端末及び、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することにより、誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる構想である。

【事業概要】

- ①高速大容量の通信ネットワーク(無線LANによる高速通信)の整備
令和2年12月末までに
- ②1人1台学習者用タブレット端末の整備
令和5年度までに段階的に

2 ICT関連事業に係る今後の研究テーマ(5つ)の決定

- 1 LPWA通信網整備
河川水位観測システム、地域見守りシステム
- 2 情報配信システム
防災情報配信システム等
- 3 タブレット・WIFI等学習環境整備
1人1台タブレット端末整備等
- 4 マイナンバーカードの利活用
マイナンバーカードの普及促進
- 5 RPAによる行政事務の効率化
適用事務の選定等

<協議事項>

1 優先順位1位の事業『LPWA通信網整備』の研究について

水害対策としての常習浸水地域の各河川へのセンサーの設置とその見える化の推進、農業サイドの湛水防除と都市排水としての都市型ポンプの水位観測の必要性等、各委員から意見、提言が出された。

ICT活用特別委員会